

2010年度

佐世保市議会議員 市岡ひろみち 特集



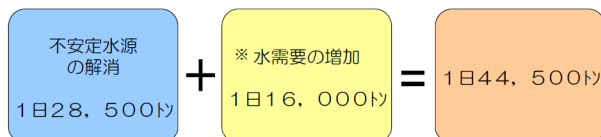
世界の政治や経済の大きなうねりが、そのまゝ私たちの暮らしに影響を与える今、政治は生活に根ざし、人々の声を反映した温かみのある政治への転換を余儀なくされています。くすんだものに真実という輝きは無く、いま時代が求めるものは、人間愛にも通じる純粹な思想と燃えるような情熱に裏づけされた確かな実行力、真のリーダーとしての存在です。二八年間皆様とともに歩んできた今日までを大きな財産として一つひとつを着実に政策へと結びつけ、力強い活力ある郷土・佐世保のためにこれからも走り続けます。

まさに今、東日本大震災への対応、そして復興という大きな試練に、私たちは立ち向かって行かなければなりません。

この時代だからこそ、自分たちの力を信じ、この時代だからこそ、自分たちの街の力を信じ、私は皆さんの思いを大切にがんばります。

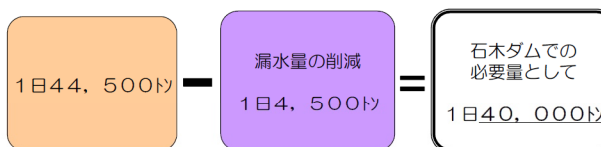


○不安定水源の解消と新たな水需要の増加で、1日44,500トンが必要です。



※水需要の増加量11,500トン(H29計画値)と、漏水量4,500トン(H19実績推計値)の和

○平成29年度までに有効率を92%に向上させ、漏水を削減することにより、石木ダムでの必要量は1日40,000トになります。



イメージ図

今回は佐世保市の水事情及び水資源について特集を組みました。

佐世保市は
日本有数の
渇水都市です。

佐世保市は、過去20年間に水不足の心配がなかったのは9年。残り11年は渇水の危機に瀕し、内3回は給水制限を実施しました。佐世保市の水不足は降雨に左右される河川水に大きく頼っているからです。このような現状を解決するだけでも、最低、取水量が安定しない1日28,500tの不安定水源を安定水源に転換することが必要です。さらに、人口減少をふまえても、下水道の普及や核家族化により、水はさらに必要となります。

現在、配管、佐世保市では老朽化した家庭有敷設（浄水場）の漏水を改善して、平成27年度までに向上させる計画です。10月1日現在、新設した水道管の漏水は、遠く及びまぜん。t

石木ダムの目的

①洪水から住民の

日朋日よ可生
日活を
改修する

より相
毎秒に
1分
'月
1日
3倍
0に

も、
なま
りで
ま流
す事
が
可
能

でとはなり、洪水が水す時に毎秒

1
'
4
0
0
t
が
流
れ

てきます。これを野
川ダムと石ダムを

で
毎
秒
2
7
0
も
軽
減

し、川棚町市街地を

守ります

② 佐世保市の本格的な足湯の消滅

佐世保市は漏水対策

安を見込んだ上では、不

た安定な水需要の確保、灌漑と新

1日最大で40,000

必要です。水道用水が

③現在使つてゐる水首

（理）
用水（川棚町1日7

5
0
0
5, t
佐
世
保
市

の1
安日
定1
取5
水。0
0
0
t

○ 二 次 元

石木ダムの事業概要



石木ダムは治水と利水を併せて県解
決できる必要な事業として長崎で
や関係自治体の意見は統一されて
います。

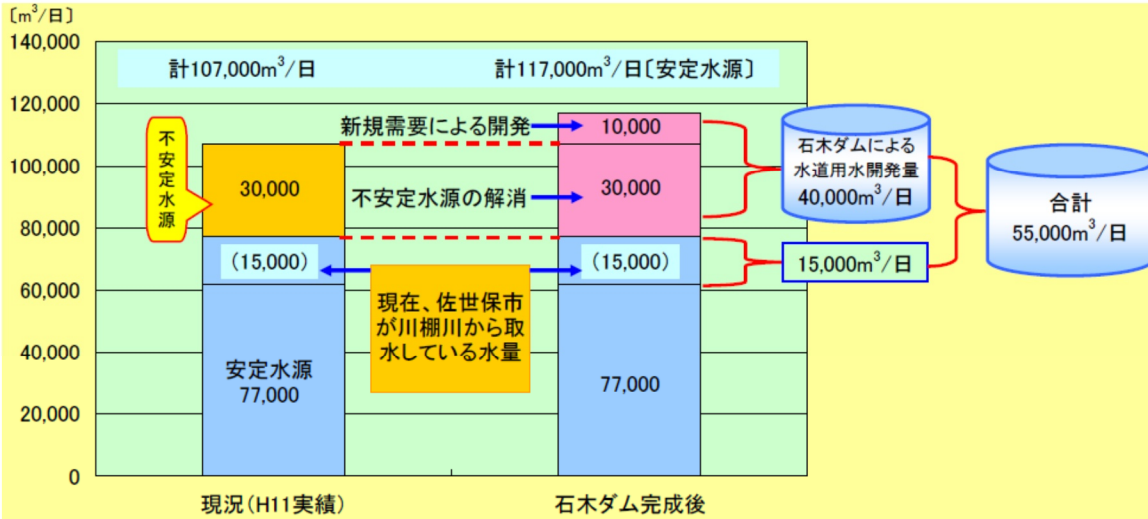
佐世保市の渇水

○平成6年の渇水では264日間
給水制限が実施され、その中では
2日間、43時間の断水が行われ
ました。

○当時、渇水対策費として約50億
円もの巨費を負担しました。

水道の安定供給を 目指して

水道管の漏水対策を行っていますが、
水不足の根本的な解決には至りませ
ん。安定水源の確保が不可欠で、事業
として最も有効性の大きな方法が石木
ダム事業です。



石木ダムの必要性について、近年の社会情
勢を踏まえ治水面・利水面・環境面から学
識者からなる第三者委員会等の審議を経た申
請結果、妥当であると平成19年度までに答申
を得ました。
更に平成20年度末現在における事業の進捗
率は、用地の契約率及び家屋移転率が共に
81%となっています。



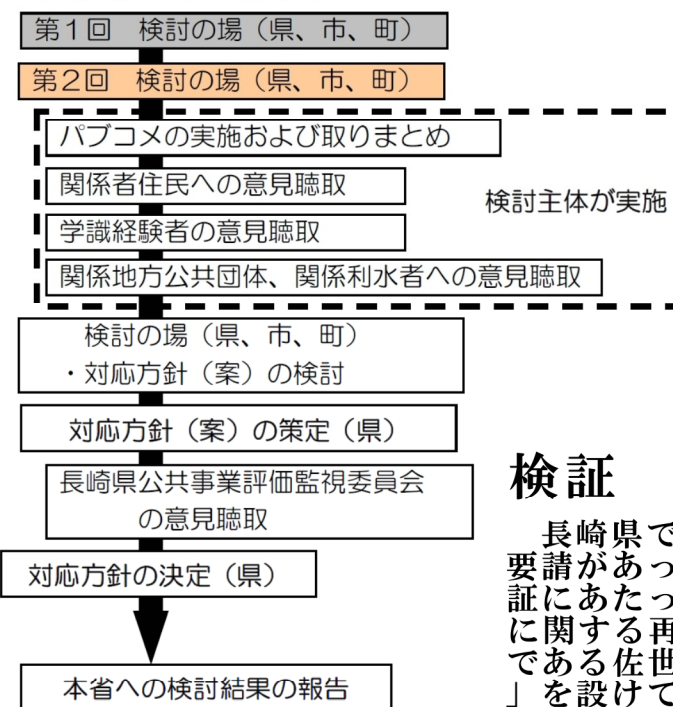
事業認定手続き

事業認定は、事業認定庁が第三者の視点で
事業の公益性について個別事業法とは別の
土地収用法の観点から、改めて検証し、公
益性が認められる場合、その事業を認定す
る手続きです。

事業認定を受けると将来収用委員会に裁決
申請できる条件は整いますが、あくまでも
収用するためには、別途、収用委員会の手
続きが必要となるものであり、事業認定自
体が直接収用につながるものではありません。

検証

長崎県では、平成22年9月28日に国土交通大臣より
要請があった石木ダム建設事業の検証を進めています。検証
にあたっては、国が示した「ダム事業の検証に係る検討
に関する再評価実施要領細目」により、関係地方公共団体
である佐世保市、川棚町、波佐見町とともに、「検討の場」
を設けています。



水は都市の形成及び維持に不可欠な要素です。
最優先の事業として水事業に取り組んでまいります。